

# 研究概要図

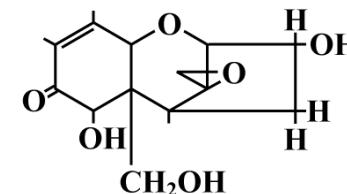
研究課題名：国産農産物中のかび毒及びかび毒類縁体の動態解明並びに汚染の防止及び低減に関する研究



麦類赤かび病：登熟期間に降水の多い日本では避けることが困難  
→ トリコテセン系 (DON, NIV等) かび毒の穀粒への蓄積

DON: 食安委での再評価→トータルDON評価への動き

デオキシニバレノール(DON)



「戦略プロかび毒コンソーシアム」

代表機関

統括、分析法の妥当性確認ほか



九州沖縄農業研究センター、  
高度解析センター、食品研究部門

共同研究機関

小麦・大麦の栽培  
赤かび病防除試験  
生育ステージ毎のサンプリング

免疫学的分析法  
の開発

トリコテセン産生型  
の簡易判別法

アフラトキシン産生菌  
の高感度検出法



古川農業試験場



研究内容の概要

育種・栽培の試験圃場

かび毒分析技術の高度化

産生菌の判別・検出法の高度化

品種・栽培条件の  
明らかな麦試料

分析法の  
開発と検証

トリコテセン産生型の判別  
アフラトキシン産生菌の検出

生育ステージ、品種差、防除の効果

産生菌の国内分布、生息環境

生産現場の試験研究機関等の  
協力を得てオールジャパンの  
体制を構築

達成目標

DON, DON配糖体ほかかび毒誘導体の濃度に関する知見

産生菌の毒素産生型、分布と動態に関する知見

小麦・大麦中のDON (誘導体含む) 濃度を低減するための管理点 (改善点) を1つ以上選定  
サーベイランスや自主検査に利用可能な産生菌の診断技術を1種類以上開発

行政部局によるリスク管理措置  
簡易判別・検出法の現場への普及へ